

(様式3)

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>1.命を尊ぶ。2.自立支援を行う。3.御利用者のご家族の意志を尊重する。4.笑顔と声かけ、安心介護を行う。5.住み慣れた地域生活の継続のご支援を行う。6.日々の生活に社会参加を取り入れる。</p>	<p>地域の行事や、お祭り・運動会・ボランティアの受け入れ、ご入居者と一緒にお買い物に出かけたりと、日常の生活を継続しています。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者は、介護従事者の雇用面接時に理念・方針を具体的に伝え、就業意欲を確認後雇用しております毎朝のカンファレンスで現況の報告、確認を行っております。</p>	<p>業務日誌・個別記録・カンファレンス・資料掲示</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域の自治会長・住民・ご入居者のご家族・包括支援センター等のサービス推進会議の委員をお願い致しております。会議で頂いた発言が、地域に届き、外出時の支援のお申し出を頂いております。</p>	<p>地域の行事や、お祭り・運動会・ボランティアの受け入れ、ご入居者と一緒にお買い物に出かけたりと、日常の生活を継続しています。地域のふれあい喫茶に出かけます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>住宅地にある、民家改修施設なので、地域と関わりやすく、管理者・介護職・御利用者は、自然と「こんにちは」と笑顔の挨拶を交わしております。沢山貰ったからと日用品をお届け頂くこともあります。</p>	<p>ご入居者様と通りがかりの人と、窓越しに、対話をされている事もあります。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>管理者・計画作成者・職員数名は地域の住民であり同じ地域で暮しており、日常生活の中で、交流が行われています。毎月自治会の配布物と一緒にゆとり通信を地域の各家に配布して下さっております。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>昨年、ご提案を頂きました<職員からの提案があ るように>に対して、提案書・レクレーション等 自発性がみられます。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>		<p>地域のふれあい喫茶に、車椅子利用者も参加が 出来る様に改善されました。また、外出時のご利 用者様のボランティアの外出支援の申し出を頂きま した。御入居者の家族の委員様は、「こんなに、皆 にお世話になって、私も、行事に参加します。」 と笑顔で話されていました。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町とと もにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>包括支援センター様にも運営推進会議の委員とし て参加して頂いております。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る</p>		<p>計画作成者は、社会福祉士であり、成年後見人とな っています。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書に基づき、契約前に、ご利用に際しての、サービス提供の内容・権利・義務等をゆっくりと説明した後に、お問い合わせにお答え致しております。説明時には、ご入居者様・ご親族様、複数のご同席を頂いております。		
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご親族の訪問が頻繁にあり、個室での会話や、外出の機会が多くあり、ご家族に気持ちを伝える機会がある。また、毎月の介護相談員さんとの会話や、支援センターからの来訪などで、「ゆとりさんの生活はどうですか」と問いかけておられます。		「何か、したい事はないですか？」とスタッフも、気遣って声かけを行っている。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	領収書・会報紙・写真・報告などの送付を定期的に行っております。ご入居者様のご親族・お友達と職員との電話・お手紙・訪問時には、ご家族との対話を致しております。体調に変化等について個別に連絡を致しております。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書・重要事項説明書に相談窓口3箇所を記載しており契約時に説明を致しております。		説明後、ご満足頂けるサービス提供を行う為に、ご不満に至る前に、ご要望を私共にお伝え頂く事を御願致しております。ご要望には、対応を検討し、楽しい生活のご支援をさせて頂きたいとお伝え致しております。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者（運営者）は、個人的にも対話する機会が多く職員の気持ちや、意見に耳を傾け、利用者にとって望ましい提案等を取り入れている。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成前に個別の希望休の要望を受け入れていますが、緊急な調整には、職員の協力を頂き、長期休暇にも対応し、勤務復帰されています。		家族の病気・葬儀（本人の怪我・病気等の3ヶ月・6ヶ月の休期間後に復職されました。）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職に際して、雇用契約に1ヶ月前までに申し出る事を約定しています。 やむ得ず、離職に至るときは、後任の勤務者を雇用し、引継ぎを行っています。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者と管理者は兼務しており随時、職員は疑問・質問・相談を受ける事ができます。当事業所に研修生を受け入れる事で職員の研鑽意欲を高めております。施設部会の研修・リハビリセンターでの研修・また資格取得の為の情報を掲示しています。今年度は認知症実務研修を3名、計画作成者研修1名受講します。参加者は研修報告を行っております。		口腔ケア・リハビリ体操・認知症ケア・小規模多機能計画作成者研修・管理者研修・成年後見人継続研修
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	篠山市では、運営部会が創設されていますが、1ユニット2施設であり、通所部会の交流研修に参加しています。		事業所交流研修に3名参加しています。(高仙坊・東田・大上)
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減や、気持ちのリフレッシュを行う為に、食事会や、小旅行を行っています。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	給料明細書に毎月一言コメントを記載している。契約更新時に本人より、旧年の自己評価と新年の目標を定め、用紙に記載し担当者との会談を行い、コミュニケーションを図っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族にセンター方式の一部の記載をして頂き今日までのご入居者様の暮らしや、その人らしさを受止められるようにしております。其の上で、ご本人のお話を伺うと、現況の状況をより理解しやすくなっております。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族やご親族との関係作りは契約前の段階からと思っており、初回ご相談に来所された時のお話も、受け流すのではなく、お話の中にある、真意を受止めるように致しております。</p>	<p>御来所された時は、ご家族から声をかけて頂く事も多いです。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>お電話での、ご相談や、ご来所のご相談にも、専門医院の受診・行政の対応等状況に応じ、必要と思える理由を伝えて、ご紹介を致しております。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>居宅支援事業や、通所介護サービスを提供しながら、顔馴染みから、気持ちのつながりが深まり、ご家族もご親族に、お話にくい事も、気軽に御相談に来られています。其の経緯の中で、グループホームご利用のご希望を頂いております。</p>	<p>在宅支援を基本に考えております。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご入居者にとって、此处は住居です。職員に家に遊びに来てや。と言いながら、「踊りおどるなら・・・」と職員と踊ってみたり、「こんなん、できへん。何にも、出来へんようになったと」悲しそう。「私も、よう、わすれるよ。誰も同じよ。」の返事に「そうかな。年やもんな。」と笑顔に変わる。スタッフはこの笑顔と笑い声に癒されます。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	契約時から、家族様の関わりをお願い致しており、現状では、協力医以外の受診時（ペースメーカー）や美容院など、ご家族によって思いの、関わりをされておられます。		
29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族にセンター方式の一部の記載をして頂き今日までのご入居者様の暮らしや、その人らしさを受止められるようにしております。其の上で、ご本人との関係を継続して下さる事をお約束しています。		契約時に、来所訪問・外出・外泊をして差し上げて下さいね。とお願いしますと、「いいんですか」とお尋ね頂いた事があります。「遠慮なくお出で下さい。私たちからも、お願いします。」とお伝え致しております。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	領収書・会報紙・写真・報告などの送付を定期的に行っております。ご入居者様のご親族・お友達と職員との電話・お手紙・訪問時には、ご家族との対話を致しております。		個人情報保護条例を重視する必要から、友人の確認を行いながら、旧友の再会もあります。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人・ひとりの生活能力によって、日常の生活を過ごしておられます。心身能力が非常に低下されている入居者のお世話や、いたわりの声掛けをされています。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご家族・ご本人より、お問い合わせ・ご相談には、契約終了後も、応じております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎朝のカンファレンスで、ご入居者の体調や状況の報告・引継ぎを行っており、個別の意向や希望をスタッフは共有し、対応を図っています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご入居時には、ご家族にセンター方式の一部の記載をして頂いており、今日までのご入居者様の暮らしや、その人らしさを受止められるようにしております。其の上で、ご本人との関係を継続して下さる事をお約束しています。入居時には、ケアーマジャー様に情報提供をお願い致しております。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>お年寄りの生活能力は、常に一定ではなく、季節や体調・気分やその時々によって、やる気や出来る事に違いがあります。スタッフは日々のカンファレンスやミーティングでその変化を総合的に把握する事で、今出来る機能の見出しと、活用の促しを行っております。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフは24時間を4区分したローテーション勤務をしており、日中の状態・夜間の状態を知っており、カンファレンス・記録を行っております。計画作成者は家族・本人・情報を基に計画を作成致しております。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>緊急的な介護プラン変更（特に入院など）には、退院後にプラン変更が必要な時には、関係者と検討を致しております。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>当事業所は、居宅介護支援・通所介護サービス・ナイトサービス（自主事業）・グループホームを運営しております。緊急時や、ショート（短期入所）に拒否があり、受け入れが困難な人にナイトサービスを提供し、在宅生活のご支援を致します。</p>	
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域の自治会長・民生委員・ボランティア・消防団員様にゆとりの家の会報紙をお届けしております。また、民生委員様より会報紙が届きます。教育委員会を通して、テントの貸し出しを頂いております。消防用設備設置届け等など、連携を保っています。</p>	<p>毎年、中学生の職場トライアルの受け入れを行っています。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>ご家族の意向や必要に応じて、ケアマネジャー・サービス事業者・医師・老健の相談員と話し合いを持ち他のサービスを利用する為の支援をしています。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターとは毎月の事業者会議・認定更新・地域包括支援センターの緊急対応依頼の相談などの交流は多くあります。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		心臓ペースメカーなど経過観察
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	ご家族の都合で、ホームから移居される時は移居先のご支援・資料提供など必要に応じて、混乱が起きないようにご支援や配慮を致しております。	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	なじみの関係でありながらも、スタッフは介護者であり、ご入居者様が、安心して生活の継続をご支援する立場である事を自覚しております。個人情報漏洩しないように、保存を致しております。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	自発的な表現が困難になっても、問いかけの中で、笑い・声のトーン・動作などで、気持ちのほづみなどの変化を読み取れる事も多くあります。	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	基本的な生活リズムは、ありますが、ご利用者の生活歴を考えて、畑作業などを取り入れていいます。散歩なども、気軽にでかけています。	
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	ご希望の美容院を持っておられる人には、同行致します。ご家族と一緒にいられる人もおられます。ご希望の人は、髪染めをされています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		<p>ご入居者様に、金銭管理もできないが、「お金・お金」と言うお年寄りがおられます。入居当時、ご家族と話し合い、小額をポーチに入れて持って頂きました。管理は無理で「盗った・盗った」と他のお年寄りに言うが、部屋に落ちています。おもちゃのお金を持って頂きましたが、破ってしまいました。それでも、ポーチを腰につける事で安心されます。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>お墓参りや、散歩・買い物・受診</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		<p>電話は頂くことがありますが、ご本人からのお電話されていません。一時、携帯電話をもっておられました。現在は管理が無理で持っていない。</p>
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		<p>特別な事を行っていませんが、ご挨拶を笑顔で入居者やスタッフが行っています。</p>
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		<p>御入居者様を自分のお母さんと思う様な介護を行っております。また、将来、自分が必要になった時、受けたい様なケアを提供したいと思っており、身体拘束（言動を含む）をしていません。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設当初より、日中すべて、鍵をかけないでおりましたが、昨今の外部より飛び込みの訪問者によって、悲惨な事件が多発致しております。このような社会状況や、ご入居者様の安全配慮の為、2時より4時迄の開放に致しております。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフは、ご入居者が安全に生活が送れるように昼夜を通して声掛けや、目配り、などを行い、危険の無いように心配りを行っています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	使い捨てカイロ・お化粧品(クリーム)を食べたりと異食行為の見られるご入居様には、スタッフが預かり、利用時に必要な量を手に塗布しています。また、ご自分で、パット管理をしている人も居られます。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアルを設置しています。火災訓練を行っている。医療行為については、看護師が中心に薬管理や、対応を行っています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生マニュアルを設置している。ひやりはっこの記録を基にカンファレンス等で、今後の対応を検討しています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携をとっています。		自治会と連絡をとっています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	ご契約時に、今後起こり得る身体変化と現状での リスクをお伝え致しております。また、入院・退 院時の状況についても考えられるリスクや予測で きる心身機能の変化をお伝えし、ご家族のお気持 ちを確認した上で、普通の暮らしの継続を図るよ うに致しております。		
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気づいた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	毎朝のカンファレンスで、ご入居者一人・ひとりの様 子や変化を報告し、スタッフは情報を共有していま す。協力医は常にご入居者の身体の状況の把握をして おり、24時間指示を受けることができます。体調の 変化や異変のある時は、上司に方向し、指示を受けて いますが、緊急の時は、救急車等人命救助行動を優先 する。		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解しており、 服薬の支援と症状の変化の確認に努めてい る	服薬管理を看護師が行っております。服薬チェッ クを記録し、薬の効能・副作用・効果表をおいて います。		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防 と対応のための飲食物の工夫や身体を動か す働きかけ等に取り組んでいる	排泄の記録をしています。軟便・便秘の情報を把 握する事で体調のよい状況を、食欲の継続にも なっております。		毎日、ラジオ体操・口腔体操・介護予防体操を 行っております。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている	服薬介助後服薬確認を行う時に食物残渣の確認等 を行っています。総入歯の管理ができない高齢者 には、直接介助を行っています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量の記録を行っています。また、食欲 が低下している時は、主食をおじやにしたり、副 食をきざみにしたり、とろみを付けたり、水分量 少ない時は、お茶ゼリーや健康飲料を提供してい ます。		状況等は協力医に報告し、必要な時は受診をして います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがある。手指消毒を行っています。ノロウイルスには、食器の塩素系消毒をおこなっています。		インフルエンザはスタッフ・ご入居者共に予防接種を受けています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機で、衛生管理を行っています。食品は、冷凍庫・冷蔵庫で保存しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	民家改修型の施設であり、門扉から庭が見渡せるなど、親しみやすい設計となっています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下においても、台所から煮物の香りが漂い、食欲が益します。和室から庭の花壇が見渡せる。そこに廊下がある。そこに、草むしりをしているおとしりが見える。そして、うぐいすのさえずりが聞こえる今、こんな日常です。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2階に居室がありますが、ご入居者は好きな時にエレベーターに乗って居室に行ったり、2階のソファークツろいでいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>折り紙の好きなお年寄りの居室は折り紙でお部屋をかざっています。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な場所で、笑顔で生活する事を目標に、一日を大切にご入居者様も職員も共に、笑顔に支えられたり、支えたりと生きがいを持って生活をしています。スタッフは、ご入居者様の心身の機能が非常に低下状態の場合でも、あきらめる事無く、日々の業務の中で、生きがいや楽しみを感じて頂ける工夫を致しております。